



令和6年度 沖エツアーを終えて

今年度、最初の体験入学は沖縄工業高校でした。本校から4人の生徒が参加しました。

参加した生徒の感想と沖縄工業高校の紹介を見て、興味を持った生徒は、7月26日の体験入学に参加してみましょう。公文が届き次第、募集要項を配付します。

工業高校の教育課程（普通高校との違い） ※沖エツアー説明会資料より抜粋

本校は、工業及び課程に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するために必要な教育課程を組んでいます。合計6つの学科から成り立っており、各学科に共通する教科(国数英などの普通教科)と、各学科の専門教科(実習、課題研究など、学科によって大きく異なる)の両方を学習します。普通高校と比べると普通教科を勉強する時間は少ないですが、その分、実習や課題研究などを通して専門的なことを学ぶ科目が多く設定されています。たとえば「実習」は、物を作ったり実験をしたりする科目で工業高校ならではの科目です。



※沖縄工業高校学校案内より抜粋

沖エツアーに参加して

Q. なぜ工業高校を選んだ？

高校卒業したらすぐ働きたかったのが工業高校を選んだ理由でした。あと中学校の時にテレビ番組で日本人の技術者が海外の貧しい環境の地域に行って、現地の材料で水を引いて蛇口を付けて村が豊かになっていたのを見て、僕も、こういう技術者になりたいと思い工業高校行くことを決めました。

Q. 中学校との違いは？

学科という3年間同じクラスで仲間なので卒業してもずっと付き合える仲間ができると思います。あと工業は、やっぱり男子が多いです(笑)中学校は、教師1人で40人の生徒を教えますけど工業高校は、実習など4班に分かれますので教師1人で生徒10名の少人数で教えてもらえ、質問しやすくわかりやすいので身につけやすいと思います。

Q. 沖工の良いところは？

僕は、高校2年生まで就職希望でした。しかし、大学で深く専門分野を学び、語学も身につけて海外で仕事をしてみたいくなり、高校3年生から大学を本格的に目指しました。僕は、琉球大学に工業高校の推薦枠で合格しました。沖工で頑張っていたら、就職でも進学でもどちらにでも進路選択可能という所が良いところだと思います。

- ・沖工には、6つの学科があり、土や水などの性質を調べており、コンクリートなどを作っていた。
- ・パソコンや色々な機械などを使って、物を作っていてどういう仕組みかがよく分かった。
- ・部活動もみんな覇気があり、とても集中していいなと思った。
- ・沖工では、どんなことを学んだり作ったり、調べたりしているのがよく分かって、学校行事や授業内容がとてもわかりやすく、とても整備されている学校だなと思った。
(2組男子)
- ・中学校でならったやつより上を習っている。
- ・ウェイトリフティングがある。
- ・沖工のいいところはいっぱいある。部活もすごかった。(1組男子)
- ・工業高校っぽい部活動があった(ロボット部)、中学校にはない部活動があった。同好会があった(茶道) (4組男子)

那覇商業高校体験入学募集について

那覇商業高校の体験入学の募集要項が届きました。各学級に募集要項を配付しています。希望する生徒は、期限内に申し込みをお願いします。

(校内メ切6月19日 生徒→担任→進路担当へ)

なお、那覇商業高校の体験入学日程は、浦添商業高校の体験入学の日程と重なっています。気をつけて申し込んでください。

